

「世界が称賛する日本の教育」を読んで、幾つか参考になる事項があった。以下の 10 項目だ。本の紹介及び目次の紹介は後述。



- ① 教育再建の三大原理を实践して変えたウガンダの高校生
「時を守り、場を清め、礼を正す」 野球部監督として赴任し、先ず、早朝の読書と清掃を徹底して実施した。この成果が野球の試合の結果にもつながる様になり、更に彼等は、人間的にも成長し、母国の為に尽くしたいとの思いを抱くようになった。
- ② 米レーガン政権下、道徳教育改革のために纏められた[The Book of Virtue]は、「教育勅語」を下敷きとして書かれた。マッカーサーは昭和天皇を日本の最上の紳士と称賛 天皇は、教育勅語の体現者 十二の徳目の普遍性
- ③ 福井県の子育てに学ぶ
校門で校舎に向かって一礼し、食事前に正座で黙想、廊下で雑巾を前にして正座して黙想する。給食に越前塗の漆器を使用して欲しいとの申し出。日本一宿題が多い県＝家事する母親の傍らで宿題する子等、橋本佐内=稚心を去る、遊びは宿題を終わってからの習慣づけ
- ④ 親学
「学校でも大学でも教えていないのは、親になる方法だ。」
親の愛は臍の緒を通じて赤ちゃんへ、五感で母親と結びつく
人から愛された子供が、人を愛することが出来る子供に育つ、母の愛で子は育つ
子育ては興国の大業とに認識が必須
- ⑤ 江戸日本
群を抜く教育水準 就学率70～80%、幕末寺子屋数は現在の小学校数に相当
マンツーマン教育の実践、7千種もの教科書、
- ⑥ 小林虎三郎 米百俵の精神(長岡藩の事例)、国家の強弱は人民の教育・啓蒙で決まる。
長岡藩立の学校から逸材輩出
- ⑦ 悪評高き修身教科書の実態は
道徳教育空洞化に益する。
- ⑧ 文部省唱歌は当時の一流の詩人や作曲家が匿名で作詞作曲、子供達の情操教育のために

考案 唱歌教育の創始者は伊澤修二

- ⑨ 幼児にとってはひらがなよりも感じが覚えやすいとの研究結果、漢字学習で幼稚園児の知能が伸びた。遊び感覚で漢字の意味を類推させる。
- ⑩ 灘高の伝説の国語教室 中学の3年間かけて「銀の匙」を精読する授業
生きる糧を得、一語からの広がり重要、自ら発見したことは宝、学ぶ力

1 本の紹介

著者：伊勢雅臣氏（国際派日本人養成講座・編集局長）

出版社：育鵬社

発行日：2017年8月10日

2 書籍の構成紹介

まえがき

第1章 世界が称賛する日本の教育

「子は国の宝」の経済学

「日本人という生き方」(上) ウガンダの高校生を変えた日本の躰け

「日本人という生き方」(下) ウガンダの高校生たちの志

「教育勅語」－世界人類に共感される広やかな道

第2章 蘇る日本の教育

学力・体力トップクラス－福井県の子育てに学ぶ(上)

学力・体力トップクラス－福井県の子育てに学ぶ(下)

親学のすすめ(上)－母の愛を待つ胎児・新生児

親学のすすめ(下) 乳幼児編－母の愛で子は育つ

第3章 日本の教育の地下水脈

江戸日本はボランティア教育大国

小林虎三郎一人づくりは国づくり

井上毅－有徳国家を目指して

「国民の修身」を読む

伊澤修二－唱歌で目指した国民国家

第4章 国語・古典という根っこ

子供を伸ばす漢字教育

生きる力を引き出す授業(上)－伝説の国語教師・橋本武

生きる力を引き出す授業(下)－国語が育む「共に生きる力」

古典教育が近代国家を発展させるという逆説

あとがき 「空想から科学へ」